

エファジャパン 2005 年度事業計画

I 事務局基本方針

1. 独自性の開拓

自治労が母体となり設立され、その国際貢献事業の一部を引き継いでいるという背景から、他の NGO と資金助成による共同事業が現在のエファの海外事業のメインとなっている。エファジャパンが NGO として主体的に課題に取り組めるよう方針、方向性を現行の事業を実施しながら模索していく。

2. 組織基盤拡充と運営委員会の設置

(1) 組織基盤拡充

NGO としてエファジャパンが今後活動を推進するためには、会員の増加、支援者の増加を図らなければならない。自治労関係者への呼びかけもさらに行い、同時に多くの市民が参加できるような企画を考えて行きたい。

例) スタディツアーの実施、講演会への講師派遣など

(2) 運営委員会の設置

多くの市民の参加、活動理解、活動の推進のために、会員からなる運営委員会を設置する。定期的な会合機会を設け、事業、広報活動に対する提言、事業の実施推進を行う。

II 海外事業

自治労がこれまで実施し、エファが引き継いだ事業の充実が課題になるが、各活動地において当局からの活動承認獲得など、独自の事業展開を視野に入れた動きを図りたい。

また、エファジャパンの理念に即した取り組むべき事業について考察するため、積極的に調査活動を行う。今年度は、「子ども」を主なテーマとしたい。

1. ベトナム事業

(1) ベトナム北部イエンバイ省「乳幼児教育」事業（継続実施）

今年度もベトナム北部イエンバイ省において地元自治体と協力し、0-5 歳児を対象とした保健衛生、栄養、幼児教育等、健全な乳幼児の育成を、母子を対象に行う。この事業は、社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン (SCJ) との共同事業として実施する。

(2) ハイフォン「子どもの家」自立支援事業

自立運営を目指す「子どもの家」の支援を計画、実施する。これまで職業訓練活動の一環として実施してきた刺繍布製を含めて、クラフト製品の開発などを検討したい。また、ハイフォン市唯一の児童一時保護施設であることから施設全体の運営協力も視野に入れる。

2. ラオス事業

(1) 「ヴィエンチャン市公共図書館・多目的ホール」建設運営事業

ラオス・ヴィエンチャン市内において、公立図書館・多目的ホールの建設を自治労北海道本部、自治労東京都本部、自治労愛知県本部の協力により実施する（基本合意締結済）。本年度中の建物完成を目指す。本事業は、上記自治労 3 県本部、社団法人シャンティ国際ボランティア会と共同で実施する。

(2) ヴィエンチャン「子どもの家」運営事業

「子どもの家」については、自立運営のための支援を適時考えていく。また自治労関係者の訪問希望も多く、ニーズと支援方法について検討していく。

また、現在「子どもの家」の活動理念を活かした「子ども文化センター」がラオス 13 県で展開しており、その動向を注視し、可能な支援方法を検討したい。ルアンパバンでの「子ども文化センター」には、自治労佐賀県本部が継続して運営支援をしており、この調整業務を行う。

3. カンボジア事業

(1) カンダール州「幼児教育」事業

カンダール州における 126 の幼稚園の教員を対象に研修を行い、教材、外遊具の普及に努める。今年度で全幼稚園教員の研修を終了する予定。また、プノンペン市内に建設中の幼稚園が本年 10 月に完成、開校予定である。本事業は特定非営利活動法人幼い難民を考える会との共同事業として実施する。

(2) プノンペン「子どもの家」運営事業

カンボジアでは就学前教育の充実のため、幼稚園教員の増員を図っており、子どもの家がある国立幼稚園教員養成学校も定員が増加。モデル教育の場としての「子どもの家」幼稚園の役割はますます増加している。しかし、運営状況は厳しく給食費の払えないスラム地区から通学する子どもたちの就学が難しくなっている。今年度も自治労奈良県本部の支援する奨学金支給を継続する。

4. 平和キャンペーン

イラクーイラク医療支援を実施する日本の NGO のネットワーク JIM ネットに協力し、広報活動を実施する。また、エファジャパンの理念に適う、キャンペーン、緊急救援活動などについては、その都度対応を考える。

Ⅲ 日本国内での活動

1. 組織拡大計画

昨年同様、自治労のご協力をいただき、集会等に参加し、エファへの会員としての参加と支援活動を養成する。

2. 広報活動

- ・エファジャパンの設立を広く知らせるための広報を展開する。
- ・メールニュースである「エファ通信」の定期刊行（隔週）を今年度も実施する。
- ・定期広報誌「エファ新聞（仮称）」（季刊）の発行を目指す。
- ・エファジャパンホームページの充実、ネットによる迅速な情報提供を呼びかける。

3. その他

・スタディツアーの実施

エファ会員、自治労関係者からツアー参加の希望があり、エファスタディツアー実施のためのプレ企画を今年度積極的に行う。また、将来的には一般市民を対象としたツアー計画を実施したい。

例) 7月中旬 会員有志ツアー、8月 ベトナム「子どもの家」10周年ツアー、10月 プノンペン新築幼稚園ツアーなど

・各種ネットワークへの参加

エファの理念に合致した社会的ネットワークへの参加を積極的に図る。現在加入している「NGOー労働組合国際協働フォーラム」も企画委員として継続参加する。

・自治労各団体、組織との協働連携（ネットワーク）

国際貢献活動を計画、企画している自治労各団体、組織と連携し、共同事業を計画実施していきたい。